



なかま



発行 交野市ボランティアグループ連絡会
(交野市ボランティアセンター内)
V連絡会 E-mail katano.vltr94@gmail.com
Vセンター E-mail katabora1994@katano-shakyo.com

この度社会福祉協議会から第5期交野市地域福祉計画・地域福祉活動計画(令和8〜12年度)策定に向け、ボランティアグループ連絡会に活動目標(アクションプラン)の作成について打診がありました。

連絡会では高齢化や人口減少により役員やリーダーの担い手不足が深刻化しています。負担の少ない引継ぎを実現するため、また連絡会としてどのような活動をしていくのかを示すために、連絡会初の試みとなる5年間の活動目標を社会福祉協議会の協力のもと作成したいと考えました。

先ず2月に連絡会として今後のボランティアの目指す方向性や目的を明確にするため、グループリーダー、サブリーダー、グループ員を対象にアンケートを実施しました。その集約された意見を基に3月25日グループ懇談会を開催し、3つのテーマ別に各リーダーと役員、そして社協職員の協力を得て討議を進めました。

ボランティアを
紹介してほしい人
ボランティア活動を
はじめたい人
ボランティアセンターに
お問い合わせください
メール(左横参照)または
電話 072-894-3737

活動目標(アクションプラン)作成に向けて グループ懇談会で討議始める

各グループで大変活発な意見交換が行われました。今後はこの討議の取りまとめを行い、アクションプランにつなげる作業を進め8月にはプランを完成させる予定です。

そして令和8年度からは、連絡会並びに各グループがこのアクションプランに沿って、より良い活動が展開できるような努力していきたいと思えます。

テーマ1
ボランティアと
生きがい・やりがい
「討議の焦点」
生きがい・やりがいを伝える
誰も入りやすいボランティア活動



テーマ3
ボランティア活動の
すそ野を広げる
「討議の焦点」
ボランティア活動への足掛かり
ふくし教育と学校との連携など



アンケートでは
206件の声が寄
せられたよ!

テーマ2
ボランティアと
くらしの困りごと
「討議の焦点」
連携・PR・継続を柱に、
バス交通の整備も話題に



令和7・8年度役員候補選出ブロック決まる 大阪府市町村ボランティア連絡会代表者会議

2月14日(金)代表者会議と研修交流会が開催されました。

代表者会議では令和7年度活動方針及び同予算の決定。令和7年は役員改選の年にあたり、役員選出は4ブロックより2名ずつの選出で、担当ブロック候補は左表の通りです。

5月の総会では担当市町村名と氏名が正式決定されます。

役職	担当ブロック
会長	河北ブロック
副会長	河北ブロック
〃	北摂ブロック
〃	河南ブロック
〃	泉州ブロック
会計	泉州ブロック
監査	北摂ブロック
〃	河南ブロック

Q 大阪府ボランティア連絡会には幾つのボランティアア団体があるの?

A: 現在大阪府下には政令都市(大阪市・堺市)を除く41市町村の内、30市町村が加盟していますが、今回岬町が脱会しますので29市町村になります。内訳は北摂6市一町、河北7市、河南8市2町、泉北4市一町で25市4町の市町村となります。

みらいにつながるふくし教育

子どもたちや地域の人々のみらいにつながる「ふくし教育」の魅力を発信します。交野市のふくし教育をみんなで楽しく盛り上げていきましょう!!

日時 2025年5月14日(水)14時~16時

受付 13時30分~

場所 ゆうゆうセンター4階 多目的ホール

対象者 ふくし教育に関心のある交野市民

定員 100人

講師 元大阪教育大学教授・ふくし教育の実践研究所

SOLA(Social Labo)主宰 新崎 国広氏

【講座内容】

・実践報告2024

・ふくし教育プログラムについて

・講演「みらいにつながるふくし教育」

【問い合わせ・申し込み】

社会福祉法人 交野市社会福祉協議会

〒576-0034 交野市天野が原町 5-5-1

(ゆうゆうセンター3階) ☎072-895-1185



Web申込可

引き続き行われた研修交流会では4グループの活動報告があり、どのグループも活発であり、なおかつ前に向かって進んでいる様子がよく伝わってきました。

特に私に関心を持ったのは、昨年度から交野市社協が取り組んでいる「ふくし教育」(車いす・アイマスク・

社協と協働で
ふくし教育の充実へ

ユニバーサルデザイン・高齢者疑似体験等)に関するもので、和泉市ボランティア・市民活動センター『アイ・あいロビー』が同様の活動を10年ほど前からボランティアとして続けておられます。

個人的に私は2年前から「ふくし教育」ボランティアメンバーとして活動に参加しています。メンバーがさらに増え、皆さんと交野市の学校や地域を訪問できることを楽しみにしています。これからも社協と共に連絡会も「ふくし教育」に取り組んでゆきたいと考えます。

令和7年度リーダー会議予定

4月22日(火)10時~

於:ボランティアセンター2階

以降、偶数月の第4火曜日に開催

6月24日、8月26日、10月28日

12月23日、2月24日、3月24日

※3月は年度末につき特別開催



「なかま」247号でロシアのウクライナ侵攻を編集後記で取り上げて早や3年が過ぎた。

膠着状態が続く中でトランプ米大統領が停戦に向けて動き出したことは喜ばしいことだ。しかし当事国双方が合意できる解決策は至難の業である。どのような合意が形成できるのか世界が注視している。他にも中東におけるイスラエルとハマスの戦闘など、世界各地で紛争の火種は絶えない。紛争のない国際社会の実現は道半ばか…。

なかま次号発行予定
令和7年7月7日(月)

朗読「あい」30周年記念式典

尺八と箏の和楽器コンサート

1月16日、ゆうゆうセンター多目的ホールで開催しました。声の広報等CDの利用者・介助の皆さん方をはじめ、一般の方々の参加も含めて約150人が集い、とても嬉しかったです。

第1部は、社会福祉協議会・前波会長のごあいさつの後、「あい」発足当時のエピソードを交えて30年を振り返りました。また、現在の活動を写真で紹介し、広く知っていただく機会にもなりました。

第2部は、「尺八と箏の和楽器コンサート」でした。目の見えない尺八奏者安田さんが中央の花道を演奏しながら登場。箏の折本さんと一緒に「春の海・上弦の曲」など迫力ある演奏で、会場は新春の雰囲気になりました。

また、尺八のリクエストコーナーでは、「愛の讃歌、川の流れるように、ラ・クンパルシータ、サザエさん」などジャンルを超えて自由自在のメドレー演奏に拍手がやみませんでした。

これからも「あい」の活動を永く続けていきたいと改めて思う1日になりました。

河北ブロック交流会
グループを継続するアイデア？

1月28日、河北ブロック交流会が枚方市のラポールひらかたで開催され、老若男女、約40人が4テーブルに分かれ「グループを継続するためのアイデア」を話し合いました。

各地域・環境・状況は様々です。行政・グループの広報・SNSの活用、フェスティバルの開催、校区福祉委員会との連携等、工夫されています。広報に掲載されたボランティアの笑顔を見て加入の事例に感心しました。

テーブルごとの発表時、私たち交野市連絡会の「なかま」の発行回数と配布方法に称賛と驚きの声が上がりました。他のグループでは年1回の発行が多いようです。

他に手作りのベレー帽・エプロン姿でコーヒーをふるまうグループがとてもユニークで印象に残りました。



前田副会長が「なかま」について報告

「まちぷらす」訪問

地域に根ざした
コミュニティセンターへ

1月31日「地域のプロと手を結ぼう」と、役員が「まちぷらす」くすのき通り（天野が原2丁目・旧ミルキーウェイ）を訪問しました。

大きなガラス戸の玄関を中に入ると、本棚やテーブルセットがあり落ち着いた空間です。

「まちぷらす」の西さん・山村さんのお話によると、まちぷらす（6年前にケアプランセンターとして立ち上げ）は、介護だけでなく、子どもから高齢者まで地域に密着したコミュニティセンターとしての取り組みも進め、縦割りのつながりでなく、横のつながりで地域に根付くようにしたい。

また大型本棚を中心に「machiとしょ」を作りたいと、熱く語られました。

連絡会も点としての活動ではなく、地域の方々、団体と手をつなぎ、ボランティア活動が楽しいと感じられ、元気になるような取り組みを考えています。

今後、「まちぷらす」とも連絡を取り合い、地域の方々にボランティア活動を知っていただき、ボランティア仲間を迎え入れる取り組みをしたいとの想いを強めた訪問でした。

令和7年度グループリーダー

3月25日のリーダー会議で令和7年度各グループのリーダーが下表の通り報告されました。



グループ名	リーダー名
在宅訪問「陽だまり」	塚本 民代
子育て広場「アリス」	岡本 彰子
手話「さつき」	新里 幸子
要約筆記「星の会」	坂口 和代
点訳「虹の会」	川下 武士
朗読グループ「あい」	神原 洋子
障がい者との交流「ほほえみ」	岩川 きわ
障がい者・施設支援「ふれんズ」	中津川 美智恵
介護衣料手作り「糸ぐるま」	林 志都江
おもちゃ作りとニュースポーツ・演芸「玉手箱」	早田 有美子

ボランティア交流会／3.12 ゆうゆうセンター多目的ホール



集まろう！ 知ってね！ ボランティア！



稲垣亜香音さん「津軽民謡じょんから節」などの演奏とトーク、「さつき」が手話で情報保障

第1部
津軽三味線と
トークショー（笑）

第1部は交野市在住の稲垣亜香音さんによる津軽三味線とトークショー。津軽民謡じょんから節をはじめ、津軽甚句の力強い演奏のほか、三味線との違い等クイズをまじえての軽妙なトークで会場は大いに盛り上がりしました。



「星の会」第1部から要約筆記で情報保障

第2部 シールラリー100人超が

ボランティア体験と交流

第2部は10グループがそれぞれ工夫を凝らしての活動紹介や体験を通しての交流で、他グループに関心や興味を持つことができました。

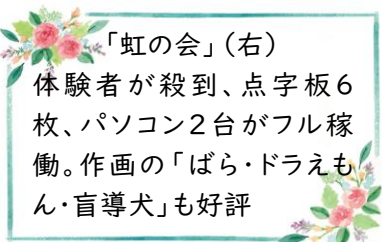
また地域の方々にボランティア活動を知っていただく機会になりました。「陽だまり・アリス・ふれんズ」の写真紹介ができず、お許しくださいね。



「糸ぐるま」保険証やカード類を保管できる入れ物が人気でした



朗読「あい」声の広報「かたの」を聴いていただきました



「虹の会」（右）体験者が殺到、点字板6枚、パソコン2台がフル稼働。作画の「ばら・ドラえもん・盲導犬」も好評



「玉手箱」（左）おもちゃ作り2種類（平面キュービック、提灯ブンブン）の材料を使い切りました



「ほほえみ」日頃の活動内容を紹介

・活動する人も利用者も増えてほしい
・他にも貴重な意見・感想を多数いただき
・色々なグループの活動を知ることができた
・知らない活動もあって勉強になった
・皆さん楽しく活躍されていて感動した
・毎年継続してもらいたい
・一般参加の人が少ないのが残念に思う
・一般の人にも知ってもらえる活動をしてほしい



★アンケート／主な意見・感想